

Enjoy Your First Step!

知多半島
医療の中枢から
仲間とはばたく



地方独立行政法人 知多半島総合医療機構

知多半島りんくう病院

〒479-8510 愛知県常滑市飛香台3丁目3番地の3
TEL:0569-35-3170

見学や採用に関するお問い合わせは電話または
下記お問い合わせフォームにてご連絡ください。



知多半島りんくう病院
初期臨床研修医採用ガイド





地方独立行政法人 知多半島総合医療機構

知多半島りんくう病院

臨床研修の基本理念

医師として果たすべき社会的役割を理解し、
豊富な知識と温かな心を持ち合わせた医師を育成します。



機構間で連携し、知多半島医療圏 62万人に幅広い医療を提供

知多半島りんくう病院は、愛知県の知多半島西岸に位置する常滑市にあり、1959（昭和34）年開院の常滑市民病院を前身とする地域の中核病院です。地方独立行政法人知多半島総合医療機構が運営する2つの病院のうちの1つで、もう一方の知多半島総合医療センター（旧・半田市立半田病院）と連携し、人口62万人の知多半島医療圏に医療を提供しています。

2025年4月、2つの病院を経営統合して現在の体制がスタートしたのに伴い、それまでの診療機能を再編成し、救命救急センターなど高度急性期医療を受け持つ知多半島総合医療センターに対し、知多半島りんくう病院では、回復期のリハビリテーションや地域包括医療のみならず、高度生殖医療にも精通した婦人科、透析を含めた腎臓内科、総合診療へ注力するほか、特定感染症指定医療機関としての役割を担います。

臨床研修の基本方針

- 1 医療人としての倫理観を持ち、患者に寄り添った安全な医療を実践できる医師の育成
- 2 行動力がありコミュニケーション能力の高い医師の育成
- 3 協調性、責任感を持ってチーム医療を実践・貢献ができる医師の育成
- 4 プライマリーケアの基本的能力および総合医の資質を持った医師の育成
- 5 急性期医療だけではなく回復期・慢性期医療の重要性を理解し、地域医療に貢献できる医師の育成
- 6 医療に関する法令・指針について理解し、適切な医療を提供できる医師の育成



知多半島
りんくう病院で働く

5つの魅力

魅力

1

幅広い医療に 触れられる

急性期医療のほか、常滑市との医療介護関連の連携事業の一環として、複合的な疾患を持つ高齢者や慢性疾患の患者さんへの入院治療から、回復期リハビリテーション、さらには退院支援・在宅医療、施設入所まで、切れ目のない医療（地域包括ケアシステム）を一通り経験できます。また、中部国際空港とアクセスのよい立地条件から、国内に4施設しかない特定感染症指定医療機関に指定されているため、輸入感染症などの特殊診療を実地で学ぶこともできます。

魅力

2

ハイブリッド研修で 救急医療も学べる

運営を同じくする知多半島総合医療センターとの緊密な連携により、知多半島りんくう病院に在籍しながら、同センターで救急医療が学べるなど、経営統合による利点を活かしたハイブリッドな研修が受けられます。

魅力

3

実践重視の マンツーマン指導

研修医を少人数に絞ることで、実践重視のマンツーマン指導により、基本的な診療能力をしっかりと身につけることができます。また、研修医の希望に沿った学びができるようにカリキュラムを柔軟に調整するなど、少人数制の利点をさらに活かす工夫も行っています。

魅力

4

相談しやすい アットホームな雰囲気

中規模の“小さな病院”だからこそ、診療科や職種を越えたチーム医療が浸透しており、研修医は先輩の医師や職員を身近に感じられるアットホームな雰囲気の中で相談や質問ができます。研修医が安心してチャレンジできるよう、先輩医師がいつでもバックアップに回る体制も整っています。

魅力

5

垣根のない 先輩・後輩の関係性

メンター制度を導入しており、研修医と比較的年齢の近い先輩医師がサポート役につくため、研修についての悩みや不安、将来のことも気軽に相談できます。また、医局全体が大きな1つの部屋にまとまっているので、異なる診療科の先輩医師にもコンタクトをとりやすい環境です。

研修医教育プログラム

ローテーション研修

必修科目	内科	24 週以上	
	救急部門 ※1	12 週以上 ※麻酔科研修 4 週を含む	
	麻酔科	4 週以上	
	小児科	4 週以上	
	外科 ※1	4 週以上	
	産婦人科 ※1	4 週以上	
	精神科 ※2	4 週以上	
	地域医療 ※3	4 週以上	
	一般外来	内科・小児科で並行研修により 4 週以上	
※1 救急(4週)、外科、産婦人科：知多半島総合医療センターで研修 ※2 精神科：大府病院で研修 ※3 地域医療：市内診療所、へき地医療（知多厚生病院）で研修			
選択科目	眼科・耳鼻いんこう科・皮膚科・整形外科・婦人科・放射線科		
	知多半島総合医療センターで研修可能 内科・小児科・脳神経外科・泌尿器科・整形外科		
	中京病院で研修可能 3 次救急		

ローテーション例

●1年次	24週					8週	4週	4週	8週
	内科					救急	小児科	麻酔科	選択
●2年次	4週	4週	4週	8週	4週	8週	4週	12週	
	選択	外科	産婦人科	選択	地域医療	選択	精神科	選択	

プログラム責任者からのメッセージ

急性期・回復期など幅広い分野の医療を密着指導 自分で行動を組み立て、実行できる医師に成長を

研修医教育では「密着」と「主体性」の2つを重視しています。密着とはマンツーマン指導のことです。当病院は、急性期から回復期、地域包括ケアも含めて医療を提供しているほか、国内に4施設だけの特定感染症指定医療機関であること、婦人科で不妊治療に力を入れていること、透析ベッドも28床あることなど幅広い特徴をもち、こうした多様な環境の中で研修の教育効果を高めるには、研修医にそれぞれの分野の先輩医師が密着し、指導を行うのが最善の方法だと思います。

とはいえ、中規模病院で医師の数も多くないため、緊急時などは研修医の面倒を見ることまで手が回らない場合もあります。そこで必要となるのが研修医自身の主体性です。せっかくの研修時間を無駄にしないよう、先輩の指導がないときでも病棟に顔を出して診療に参加するなど、自ら進んで行動を組み立て、実行できるようたくましさを身に付けてほしいと願っています。



副院長（外科）
竹之内 靖 先生
日本外科学会専門医／
日本消化器外科学会専門医・指導医

教育担当インタビュー

Interview 1

診療科を自由に行き来できる シームレスな環境

耳鼻いんこう科（部長）
岩垣 俊憲 先生
日本耳鼻咽喉科学会専門医



私が20数年前この病院に来て驚いたのは、医局が1つの大部屋に集約されていること。医者同士の垣根が低く、すぐ隣に専門の異なる先生が座っているので、時には和気あいあいと話せるし、勉強にもなりますね。このシームレスさは研修医にとってもメリットです。例えば、外科を回っている研修医のメンターに私から「気管切開する症例があるから〇〇さんに来てもらっていい？」と声をかけることも多く、貴重な症例があるときなど、研修医が診療科の間を自由に行き来できるところは魅力だと思います。研修医の間にたくさんの経験を積んでほしいという気持ちは職員全員が共通して持っていると思います。

Interview 2

1年目でも質問しやすい、 「垣根のない関係性」が魅力

神経内科
柴田 俊 先生
日本内科学会専門医



大きすぎない病院で常勤医師も研修医も同じ部屋にいるからか、いつ、誰にでも質問しやすい文化が築かれています。2年目の研修医がどんどん質問しているので、それを見た1年目も安心して質問できるそうですね。先輩医師の忙しい様子もわかるので、今話しかけていいタイミングかどうか判断しやすいと思います。病院の方針として質問しやすい雰囲気をつくりなさいなどと言われてはいませんが、このような文化が根付いているから、研修医は必要以上に目上の先生の顔色をうかがうことなく、自分で考えながら勉強していけるのだと思います。

Interview 3

一人ひとりの研修医と しっかり向き合う風土

循環器内科
（内科部長・臨床検査センター部長）
岩川 直樹 先生
日本内科学会総合内科専門医／
日本循環器学会循環器専門医



以前、研修医が10～20人いるほかの病院に勤務していたときと違い、この病院の研修は少人数制（令和7年度の1年次定員は4人）だから、指導医師や上級医が一人ひとりしっかりと関わります。自分もメンターを務めていますが、ローテーション以外の時間でも「最近どう？」などと気楽に話すことが多いです。研修医の個性に合わせた指導ができますし、学会発表に向けて準備から練習まで一緒に進めることもあります。病院の規模が小さい分、自分から積極的に参加できる人や素直に周りや協調し合える人なら、大いに成長が見込めると思いますね。

同期4人が語る 「研修医のリアル」

医師人生で一度きりの臨床研修。この貴重な機会に知多半島りんくう病院を選んだ研修医たちは、
今何を思い、どんな学びを経験しているのでしょうか。2024年度入職の研修医4人が大いに語ります。



見学での第一印象が選択の決め手に

——この病院を研修の場を選んだ理由は？

滝本 最初に見学で来たとき、院内の雰囲気がいいなと感じて、ここに決めました。案内してくれた先生方もやさしかったです。

水本 皆さん距離を感じないというか、親しみやすいですね。私は遠くに住んでいて常滑市のことを全然知らなかったのですが、見学の日は少し不安でしたが、すぐにリラックスできました。

神垣 僕は、こちらに知り合いの先生が勤務していて、いい病院だから見学に来たらって勧められたんです。

——実際に来てみての感想は？

神垣 教え方がとても熱心ですね。ここで研修医になったら、医師として確かな第一歩を踏み出せる気がしました。

山田 私は水本先生の逆で、常滑が地元なんです。この病院へ見学に来たのも自然な流れでしたが、穏やかな先生が多くて好印象だったから、ぜひここで研修したいと思いました。

学生時代とは違う初めての学びがある

——研修で特に学べたと思ったことは？

水本 学生のときは患者さんと接する機会があまりなかったのですが、研修では患者さんとコミュニケーションをとることがたびたびあり、先生が患者さんと話すのを間近で見ると大変なためになります。

山田 外科で患者さんの主治医をさせていただきました。入院手続きから薬の手配、回診、退院手続きと、先生についてもらいながらですが、自分でやってみて流れがわかったので勉強になりました。

滝本 入院中の患者さんの状態をご家族に話す機会があって、言葉遣いに注意したり、わかりやすく説明しようと頭を絞ったりするのは、学生時代にはない経験でした。横で先輩医師が聞いてくださっていたのが、安心するやら緊張するやらでしたね（笑）。



面倒見のいい先輩医師がいるから安心

——先輩医師の教え方はどうでしたか？

神垣 面倒見がいいですね。一緒に回診に行くときも、自分にやらせてくださいってお願いすると実地で教わりながらやらせてくれるから、次からも前向きになれる。

滝本 採血やルートの確保が苦手だったのですが、それを知った先輩が、ずっと両腕を出してくれたんです。

——練習台を買って出たのですね。

滝本 はい。患者さんに行くときも、緊張で手が震えそうになっているのを横で見えていて励ましてくれましたし、終わったら「よかった、できてたよ」と褒めてくれました。

山田 手技だけでなく、画像の見方やプレゼンの仕方も教えてくれる先輩が多いです。私たちと年齢が離れていても、それが気にならないくらい質問しやすいから、疑問を後に残さずに今解決するつもりでどんどん聞いています。



先輩研修医から一言！

初期研修医1年次
滝本子々先生

私たち研修医より
1つ上の先輩が生き生きと
働いている姿を見て、
自分の将来に希望が
ふくらみ、今から楽しみです。

初期研修医2年次
仲間宗一郎先生

研修医の人数がほかの
病院よりも少ない分、
上級の先生たちが
マンツーマンで、
深く教えてくださるところが
いいなと思っています。

幅広く学びたい研修医に最適な環境

——ところで、4人の仲はどんな感じ？

神垣 （3人を見回して）仲いいよね？

山田 少人数だからまとまりやすいのかな。

水本 この前、誕生日会も開いたし（笑）。

滝本 友達みたいだね。

——まだ見ぬ後輩研修医にメッセージを。

滝本 明るく、やる気のある人と一緒に働きたいです。

山田 みんなとコミュニケーションをとって仲良くなれる人なら、きっと活躍できます。

神垣 自分も勉強の最中だから、一緒に勉強できるような人に入ってきてほしいです。

水本 春から病院が生まれ変わり、三次救急についても深く学べるようになりました。幅広く学びたい人には最適な環境だと思うので、ぜひ見学に来てください。

臨床研修医の処遇

身分	正規職員
給与	○1年目 424,792円/月(地域手当含む) ○2年目 434,884円/月(地域手当含む)
各種手当	地域手当(基本給16%)、通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当、休日勤務手当、夜勤手当、業績手当、期末手当、勤勉手当、退職手当
勤務時間	基本的な勤務時間:8時30分~17時15分 宿直勤務時間(総合医療センター): 17時15分~翌日8時30分(翌日は職務免除)
年休等	有給休暇(年間20日)、夏季休暇、忌引、病気休暇、産前産後休暇、育児休業など
福利厚生	愛知県都市職員共済組合加入、公務災害補償あり、医師賠償責任保険加入
その他	宿舎:有 個人机、ロッカー:有

病院見学のご案内

当院ホームページ内の見学申込フォームよりお申し込みください。ご希望の診療科と日程調整の上、メールにて決定のご連絡をさせていただきます。